

# しよとん

仁淀川町  
広報

7 2007年  
月号 No.24



夏到来!6月26日長者保育所でプール開きが行われ、子どもたちは大はしゃぎ

本

盛

番

夏

## 主な 内容

- 2・3.....世代を超えて受け継がれる  
伝統・名野川神楽
- 4.....西森豊作さん・春の叙勲受章
- 5.....コミュニティバス運行について
- 10.....長者と森山で地域活性化講演会
- 11.....椿山で虫送り

# 名野川磐門神楽

世代を超え受け継がれる伝統



## 400年の歴史 後継者は続々と

今から四百年ほど前、帝都の落人古式部の子孫・日浦小太夫が、伊勢神宮にて研修した神楽の技術を基礎とし、神明に報いる礼儀作法を織り込み、この地に最もふさわしい磐門神楽を創始したと伝えられています。

注連の舞、四天の舞、弓の舞など十四の演目があり、なかでも神迎えを準備する白開の舞や神様を迎えて舞う磐門の舞は幻想で神秘的です。また国の重要無形民俗文化財に指定されています。

神楽を奉納する神社は次の通りです。

菜野河神社（峠ノ越）

六月十五日・十一月十五日

二所神社（下名野川）

十一月八日

三所神社（名野川）

十一月十一日（隔年）

大山祇神社（上名野川）

十一月十二日

北川神社（北川）

十一月十八日

鎌倉三頭神社（下北川）

十一月二十一日

大山祇神社（宗津）

十二月十日

滝ノ宮神社（二ノ滝）

十二月九日

名野川神楽保存会（会長・日浦源起）

会員は約五十人。最年少は小学校一年生で、最高齢は八十四歳。三代続いて舞っている人もいます。小・中・高校生を含む幅広い年代の方々が名野川神楽を大切に守り続けています。

日浦会長は「若い年代が増えているのはうれしいこと。伝統ある神楽を、見る人も楽しみにしているが、舞う人も神楽を身につけて楽しんでる。各方面にご協力をいただき、発展しているのはうれしいこと」と話していました。



中川さんがお父さんに勧められて神楽を始めたのは、小学五年生のころ。

その後、戦争や仕事のため神楽とは離れていましたが、五十歳ごろ、その当時、神楽を舞う人が高齢になり徐々に減ってきた現実を目の当たり

にし「このままでは神楽が絶えてしまう」という思いで、高知市に住みながら、下名野川や佐川町、高知市で会員を募り昭和四十七年、十二人で「名野川神楽保存会」を結成しました。

昭和五十二年に下名野川に帰って以降は、昭和五十五年に国の重要無形文化財に指定されるなど、保存会の発展のため尽くされてきました。

「若い世代が、後継者として育っている。神楽も安泰」と笑顔を見せていました。

### 1年に1度の舞い

数年前から舞うのはやめている中川さんですが、菜野河神社の宮司であることから「6月15日の例祭のときだけは、舞いたい」と保存会にお願いして「磐門之舞」だけ奉納するそうです。(左が中川さん)

## 次代を担う若者たち



神迎之舞



弓之舞



宇受姫之舞 (うずめのまい)



かねや太鼓もたたきます

平成十九年春の叙勲で、元仁淀村長の西森豊作さん（七十四歳・五味）が、長年にわたり地方の行政発展に貢献されたことにより旭日小綬章を受章されました。  
六月十七日には、仁淀多目的研修集会所で受章祝賀会が盛大に行われました。

# おめでとう！西森豊作さん 春の叙勲「旭日小綬章」受章



## 略歴

- ・仁淀村議会議員  
昭和38年2月1日～昭和62年9月28日  
(連続7期 24年8カ月)
- ・仁淀村議会議長  
昭和50年2月～昭和51年12月  
昭和54年2月～昭和60年12月
- ・高知県議長会理事  
昭和50年2月～昭和50年6月  
昭和56年6月～昭和60年12月
- ・仁淀村長  
昭和62年12月13日～平成7年12月12日  
(通算2期 8年)
- ・ダム所在市町村全国協議会理事高知県支部長  
昭和63年3月～平成7年12月
- ・ダム所在市町村全国協議会副会長  
平成4年10月～平成7年12月

## 生涯誇れる大渡ダム建設、鳥形山開発

西森さんは、昭和三十八年、仁淀村議会議員に初当選以来、二十四年八カ月にわたりご活躍され、そのうち大半を議長や大渡ダム対策特別委員会委員長として地域の発展に寄与されました。

また村内四地区にあった中学校を統合し仁淀中学校を開校、中央簡易水道の設置や村営住宅の建設、国鉄バスの廃止に伴う村営代替バス運行など住民福祉の向上に努めたほか、鳥形山の開発、大渡ダム建設などの大事業にも積極的に貢献されました。

昭和六十二年十二月仁淀村長に就任、二期八年の間、健全財政の堅持を基本姿勢とし、農林業の振興、道路網の充実、

定住環境の整備、過疎対策、文教、社会福祉の充実に尽くされました。

社会福祉の充実は優先すべき課題であるとの認識のもとに、平成五年には全国初の健康管理情報システムを導入したほか、過疎高齢化が進む無医地区では巡回診療を行うなど、高齢者福祉の向上を図られました。

そのほか、県農地防災保全協議会長、県防犯協会理事などの要職を歴任。ダム所在市町村全国協議会副会長および同協議会高知県支部長にも就任し、ダム所在村として全国規模でのダム湖周辺整備と環境整備、防災対策などに尽力されました。

## 祝賀会

### 二百三十人が 功績を讃える

受章祝賀会（主催 祝賀会発起人会・代表 若藤敏久）は、藤崎富士登町長や県議会議員ら来賓と、ご家族や地域の方々などが出席して行われました。



お祝いの花束を受け取る西森さん

数々の祝辞が贈られた後、西森さんは「思いがけない受章です。町民の皆さんの長年にわたるご指導に深く感謝します。議員・村長として、大渡ダムの完成と日本一の鉾山、鳥形山の開発に携われたことは感慨深く、生涯の誇りであると思っています。今後もこの荣誉に恥じることなく、精進していきます」と謝辞を述べていました。

# 8月6日コミュニティバス 発車します

## 国道33号及び439号以外では乗降自由区間を採用



### 運行曜日と主な経路地

| 運行曜日                 | 月曜日                        | 火曜日                        | 水曜日                          | 木曜日                   | 金曜日                            |
|----------------------|----------------------------|----------------------------|------------------------------|-----------------------|--------------------------------|
| 池川方面<br>土居経由<br>大崎行き | 瓜生野松谷<br>用居 大西<br>※(ヲヲカゲ)  | 舟 形<br>出丸 北谷 大西            | 坂 本<br>相ノ谷 西谷<br>※(白髪)       | 岩 柄<br>大西 明戸岩<br>池川大渡 | 安 居<br>坪井川 安居土居<br>※(大屋 宮ヶ平櫻山) |
|                      | 余 能<br>入江谷                 |                            |                              | 楮原大平<br>狩山 見ノ越        | 椿 山<br>大野 大西                   |
| 吾川方面<br>大崎行き         | 上久喜<br>袖ノ木谷(第1・3)<br>大蔵 久喜 | 上名野川<br>津江 下名野川<br>名野川     | 橘・上<br>鷺ノ巢<br>大尾・上<br>森山 名野川 | 北 川<br>下北川 名野川        | 宗 津<br>田村 南谷                   |
|                      | 中<br>ニノ滝<br>名野川大平<br>遅越 引地 | 大 板<br>寺村 西浦               | 中 村<br>葛原・上<br>※(蔵谷)         | 峯岩戸<br>岩戸 寺村<br>西浦    | 桜鹿森                            |
|                      |                            | 加 枝                        | 長 屋<br>田村 南谷                 | 橘 谷<br>田村 南谷          | 峠ノ越(第1・3)<br>濃溜 名野川            |
| 仁淀方面<br>森経由<br>大崎行き  | 寺野竹谷<br>古城山 木半夏<br>宮首 高杭   | 別 枝<br>霧之窪 岩屋<br>※(都 別枝中村) | 沢 渡<br>太田 道芝<br>大見槍 沢渡       | 戸 立<br>川 渡            | 古 田<br>石井野 中ノ瀬                 |
|                      |                            | 泉<br>形部 長者                 | 大 植<br>織合 形部<br>長者           | 高 瀬<br>桂 峰 中野<br>西谷   |                                |

※ヲヲカゲ 白髪 大屋 宮ヶ平 櫻山 蔵谷 都 別枝中村は事前連絡時のみ運行いたします。

朝の行き便と昼の帰り便の2便運行です。  
時刻表は、7月上旬に各世帯に配布します。

### 乗降自由区間とは？

乗降自由区間とは、運行経路上であればバス停以外の場所でも自由に乗り降りできる区間のことです。

安全運行のために次のことを守ってください。

- ①乗車の際は、余裕をもってバスをお待ちいただき、しっかりと手を挙げて乗車の意志を示してください。
- ②降車の際は、車内にて早めに運転手にお知らせ下さい。
- ③カーブ、交差点などでは乗降をお断りすることがあります。
- ④危険な場所での待ち合わせはご遠慮ください。



「しっかりと手をあげて！」

乗車料金  
片道200円

コミュニティバスは高齢者の活動機会の増大、通院や買い物等の確保など住民(特に幹線道路から離れた集落に住まわれている方々)の社会生活の基盤となることを目的として運行します。

国道33号及び439号では既存のバス停をご利用ください。